

2018年7月12日

北海道新幹線・快速「エアポート」車内における 訪日外国人のお客様に向けた無料公衆無線LANサービスの提供について

JR北海道では、海外からお越しのお客様のインターネット接続環境へのご要望にお応えするため、2018年下期から北海道・東北新幹線（H5系）および快速「エアポート」の一部列車において、無料公衆無線LANサービス（Wi-Fi）を提供いたします。

その後も、東京オリンピック・パラリンピックが開催される2020年夏までに、北海道新幹線・快速「エアポート」の全列車においてサービスを提供できるよう、順次サービス提供車両を拡大してまいります。

1. 北海道新幹線におけるサービス概要

- (1) 対象車両 北海道・東北新幹線（新函館北斗～新青森～東京）を走行するH5系車両
※H5系はJR北海道が所有する北海道・東北新幹線の車両です。
（10両1編成 全4編成）
- (2) 開始時期 2018年12月頃より順次、サービス開始を予定しています
※2019年度末までに、全4編成（40両）でサービスを開始する予定です。
JR東日本が所有する北海道・東北新幹線E5系車両では、2018年5月より順次サービスを開始しており、2019年5月までに全編成でサービスを開始する予定です。
これにより、2019年度末までに、北海道新幹線区間（新函館北斗～新青森）の全ての車両でWi-Fiをご利用いただけるようになります。
- (3) 利用方法
 - ・JR東日本E5系で導入している「JR-EAST FREE Wi-Fi」を導入します。
 - ・NTTグループのご協力のもと、LTE回線を利用したWi-Fiサービスを提供します。
 - ・お客様は携帯電話の通信契約がなくても、車両内に搭載された機器（アクセスポイント）から発出される電波を利用し、無料でインターネットを利用できます。ご利用時には、メールアドレスの入力による認証が必要です。
 - ・1日何回でもご利用いただけます。（1回の接続時間は最大3時間です）
 - ・携帯電話の電波を使用したサービスとなるため、電波の届かない区間ではご利用いただけません。
（青函トンネルの携帯電話サービスについては、2018年度末以降、順次利用開始を目指しています。携帯電話サービスがご利用いただけるようになった時点から、Wi-Fiもご利用いただけるようになります。※別紙参照）
 - ・訪日外国人のお客様に向けたサービスですが、日本人を含めどなたでもご利用になれます。

2. 快速「エアポート」におけるサービス概要

- (1) 対象車両 快速「エアポート」で使用する721系電車（11編成66両）及び733系電車（11編成66両）
- (2) 開始時期 2018年11月頃より順次、サービス開始を予定しています。
※2020年夏頃までに、全22編成132両でサービスを開始する予定です。
- (3) 利用方法
- ・ KDDIグループのご協力のもと、WiMAX2+回線を利用したJR北海道のオリジナルWi-Fi接続サービス「JR-Hokkaido Free Wi-Fi」を提供します。
 - ・ お客様は携帯電話の通信契約がなくても、車両内に搭載された機器（アクセスポイント）から発出される電波を利用し、無料でインターネットを利用できます。ご利用には、いずれかの方式による認証が必要です。
 - ① SNSアカウントによる認証
 - ② メールアドレスによる認証（メールアドレスを入力後、その宛先に届くメールに記載されたURLに接続することで認証）
 - ・ 1日何回でもご利用いただけます。（1回の接続時間は最大2時間です）
 - ・ 携帯電話の電波を使用したサービスとなるため、電波の届かない区間ではご利用いただけません。
 - ・ 訪日外国人のお客様に向けたサービスですが、日本人を含めどなたでもご利用になれます。
 - ・ Wi-Fi機器を搭載した車両が、快速「エアポート」以外の列車として運転する場合も、サービスをご利用いただけます。
※運転区間については別紙参照

3. その他

- (1) サービスをご利用いただける車両には、以下のロゴマークを掲出します。

【北海道・東北新幹線】



【快速「エアポート」】



- (2) 当事業は、国の補助金（平成30年度旅行環境整備事業費補助金）を活用します。
平成30年度は、導入費用の1／3について国庫補助の交付決定をいただいております。

(参考1) 青函トンネルにおけるWi-Fiサービスについて



※青函トンネルの携帯電話サービスについては、2018年度末以降、順次利用開始を目指しています。携帯電話サービスがご利用いただけるようになった時点から、Wi-Fiもご利用いただけるようになります。

(参考2) 快速「エアポート」の運転区間（新千歳空港～札幌～小樽）



※Wi-Fi機器を搭載した車両は、快速「エアポート」のほか、以下の区間で運転する場合があります。
函館線(小樽～札幌～岩見沢)
千歳線(札幌～苫小牧・新千歳空港)
学園都市線(札幌～北海道医療大学)